

信州大学医学部で法医解剖を受けられた
ご遺族の方へ
遺伝子解析研究にご協力をお願いいたします。

2020年4月7日

「QT延長症候群関連遺伝子と急死との関連性に関する研究」に関する遺伝子解析研究を実施しています。

信州大学医学部遺伝子解析倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	665
研究課題名	QT延長症候群関連遺伝子と急死との関連性に関する研究
所属(診療科等)	医学部法医学教室
研究責任者(職名)	佐藤 紀子(助手)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年4月7日
研究の意義、目的	解剖検体試料を用いてQT延長症候群関連遺伝子変異を検索し、急死との関連性を明らかにする研究であり、原因不明の急死の死因究明に貢献すると考えられます。
対象者	2013年1月1日から2025年4月7日の期間に当教室で解剖をされた方(但しご遺族から同意いただいていない方は対象といたしません。)
利用する診療記録/検体	年齢、性別、既往歴、服用薬剤、死因など/解剖時に採取した血液
研究方法	血液よりDNAを抽出し、QT延長症候群関連遺伝子の変異を調べ急死との関連性を明確にします。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 佐藤 紀子(医学部法医学教室・助手) 電話: 0263-37-3218

法医解剖で採取しました試料や記録を用いて研究、調査、集計します。

当大学外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、ご家族を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご家族の記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。